【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和5年7月28日(2023.7.28)

【国際公開番号】WO2022/260082
【出願番号】特願2023-527896(P2023-527896)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　9/04(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 15/08(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　9/04　１０１
Ｃ０８Ｊ　9/04　　ＣＦＤ
Ｂ３２Ｂ 15/08　　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月10日(2023.5.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
液晶ポリマーからなる第１成分と、重量割合が前記第１成分を除いて最大である第２成分と、を含む樹脂シートからなり、かつ、前記樹脂シートに空孔が設けられた、多孔質液晶ポリマーシートであって、
前記第２成分を含む領域を第１領域、前記第２成分の含有割合が前記第１領域よりも小さい領域を第２領域としたとき、前記第１領域の圧縮強度は、前記第２領域の圧縮強度よりも高く、
前記第２成分の平均粒径は、前記空孔の平均空孔径よりも小さく、
前記第２成分は、前記空孔から独立して存在している、又は、前記空孔の壁面の一部を構成している、ことを特徴とする多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項２】
前記第２成分は、無機フィラーからなる、請求項１に記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項３】
前記無機フィラーの線膨張係数は、２３℃以上、３００℃以下の温度範囲において負である、請求項２に記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項４】
前記液晶ポリマーの融点よりも５０℃低い温度を基準温度としたとき、前記第２成分の融点は、前記基準温度よりも高い、請求項１～３のいずれかに記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項５】
前記樹脂シートにおける前記第２成分の重量割合は、１０重量％以上、７０重量％以下である、請求項１～３のいずれかに記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項６】
前記樹脂シートにおける前記第２成分の重量割合は、２０重量％以上、５０重量％以下である、請求項５に記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項７】
前記液晶ポリマーの融点は、２７５℃以上、３３０℃以下である、請求項１～３のいず

れかに記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項８】
前記液晶ポリマーは、ｐ－ヒドロキシ安息香酸と６－ヒドロキシ－２－ナフトエ酸との共重合体を含む、請求項１～３のいずれかに記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項９】
前記液晶ポリマーにおいて、前記６－ヒドロキシ－２－ナフトエ酸に対する前記ｐ－ヒドロキシ安息香酸のモル比率は、０．２０以上、５以下である、請求項８に記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項１０】
前記液晶ポリマーは、モノマー全量を１００モル％としたとき、前記ｐ－ヒドロキシ安息香酸と前記６－ヒドロキシ－２－ナフトエ酸とを、各々、１０モル％以上含む、請求項８に記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項１１】
厚みが１０μｍ以上、２００μｍ以下である、請求項１～３のいずれかに記載の多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項１２】
請求項１～３のいずれかに記載の多孔質液晶ポリマーシートと、
前記多孔質液晶ポリマーシートの少なくとも一方主面に設けられた金属層と、を備える、ことを特徴とする金属層付き多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項１３】
前記金属層は、銅箔からなる、請求項１２に記載の金属層付き多孔質液晶ポリマーシート。
【請求項１４】
請求項１２に記載の金属層付き多孔質液晶ポリマーシートを備える、ことを特徴とする電子回路基板。